

河川基金助成事業

「ふるさと甲奴「河川・水」の取組～命を守る～」 報告書

助成番号 : 2023-7213-010

広島県三次市甲奴中学校

校長 佐伯 貴昭

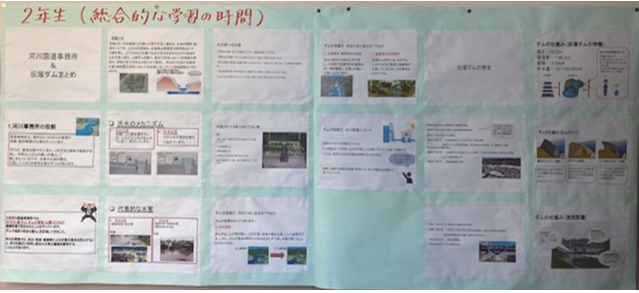
2023 年度

助成番号	助成事業名	学校名				
2023-7213-010	ふるさと甲奴「河川・水」の取組 ～命を守る～	三次市立甲奴中学校				
所在地	広島県三次市甲奴町梶田 38 番地	対象河川名	上下川, 小童川			
対象学年	1 学年(9 人)、2 学年(7 人)	主たる教科	総合的な学習, 理科, 社会			
河川教育の目標	水災害から命を守るために、災害のメカニズムをシステムで捉え、正しく判断し行動できる生徒を育成する。					
育成したい資質・能力	課題発見解決力, コミュニケーション力, やりきる力, システム思考力					
学習活動の内容と成果						
【内容】 ○1 学年 ・総合的な学習：昭和 47 年水害の体験談，甲奴町の危険箇所のフィールドワーク，三次市の防災の取組 ・理科：大地の成り立ちと変化（地形や地層，風化花崗岩，真砂土） ○2 学年 ・総合的な学習の時間：三次河川国道事務所，灰塚ダムの見学 ・理科：地球の大気と天気の変化（降雨のしくみ，気象のメカニズム，大気の循環） ・社会：日本の地域的特色（中国四国地方の地形や気候，災害との関連性） ○教員研修 ・プロジェクト WET 講習会 ・河川財団主催の河川教育研究交流会への参加 【成果】 ・1 年生は，地域の方や専門家，市役所職員から話を聞くことで，防災についてしっかりと考え始め，もっと調べてみたいことや新たな課題を見いだすことができ，課題発見力が育成された。 ・2 年生は，昨年学習したことから，さらに三次市全体や江の川での治水について調べ学習を発展させ，河川国道事務所やダム灰塚ダムの見学を通して， <u>実感を伴った理解</u> につながった。 ・学習したことを他者に伝えるために，ポスター発表やプレゼンテーションなどコミュニケーション力が付いた。 ・教科で学習したことが，総合的な学習で考えていくことと結びつき， <u>様々な要素で捉える</u> ことができた。						
学びの創意工夫点	・1 年生はフィールドワークを通して，自分の住んでいる地域の防災を考えさせた。 ・2 年生は，地域の学習をもとに，三次市の防災を考えさせ，視野を広げさせた。 ・社会や理科で学習したことを総合的な学習に関連付け，カリマネシートを作成した。					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	・1 年生は，身近な事象からの興味や疑問をもとに調べて行こうとする課題発見力が付いた。 ・2 年生は災害のしくみや治水について，視野を広げ，多面的に考えることができるようになった。					
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	（専門家等）
河川管理者	（行政機関）博物館、資料館等	関係団体（漁協、農協）等		企業	その他	
支援の概要	広島県自主防災アドバイザー（防災士）西田井恭子さん：危険箇所フィールドワーク 人権擁護委員 田村健さん：昭和 47 年水害の体験談 三次市役所危機管理課 荒瀬哲久さん：三次市の防災の取組について講義 日本河川教育学会会長 金沢緑先生：プロジェクト WET 講師 三次河川国道事務所 西尾仁志さん：三次河川国道事務所見学 灰塚ダム管理事務所 山本泰己さん：灰塚ダム見学					
成果発表	成果作品			発表方法		
	1 年生：私のマイタイムライン 2 年生：三次の防災			ポスター発表 プレゼンテーション		
今後の課題・展開						
・プロジェクト WET の講習会をもとに，プロジェクト WET を取り入れた単元や授業を開発する。 ・育成したい資質・能力を見取る評価について工夫する。 ・総合的な学習の時間と各教科との関連を明確にし，単元を見直す。						

・キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

1.助成事業名		ふるさと甲奴「河川・水」の取組～命を守る～			学校名		三次市立甲奴中学校			助成番号		2023-7213-010			
2.実際に行った単元構成 注)活動の様子を記述し、写真を添付してください。															
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
学 習 活 動 の 結 果	単元名：ふるさと甲奴は安全か ふるさと甲奴を「防災」の視点から見直し、地域の中から課題を見だし、命を守るための行動につなげる。 関連教科:総合的な学習の時間 15時間 災害が起こったことを想定したシュミレーション(DIG)を行い、一人一人がもっている情報が合わさった時、災害時の対応に優先順位が生まれることを理解すると同時に、コミュニケーションの大切さを学んだ。 甲奴町内在住の防災士である西田井恭子さんに、甲奴町内の砂防ダムや堰堤、ハザードマップに載っていない危険箇所を案内していただいた。生徒たちは実際に現地を確認することで、災害の実際や防災対策について実感を伴った理解をすることができた。 甲奴町のコミュニティセンターにおいてある災害発生時の機材を確認し、避難所が開設された際に、中学生として何ができるかを考えることができた。 三次市役所危機管理課荒瀬さんの出前授業で、洪水発生時のVRを体験し、身をもって水害の恐ろしさを疑似体験することができた。 					単元名：文化祭で発表しよう 学習したことを、他学年や保護者・地域に「防災意識」をもってもらえるよう、文化祭で展示発表する。 関連教科:総合的な学習の時間 10時間、 学校行事 2時間 文化祭での発表に向けて、学習してきたことをもとに話し合い、甲奴町の危険区域についてハザードマップに仕上げた。また、マイタイムライン等をポスターにした。 文化祭では、自分たちが学習してきた防災のことやマイタイムラインを来場者に見てもらい、これまでの学習で得たことやこれからの自分たちの行動についてしっかりと伝えていた。 					単元名：大地の成り立ちと変化 大地の成り立ちと変化を地表に見られる事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。とりわけ花崗岩の風化によってできる真砂土の特徴について理解する。 関連教科:理科 10時間 身近な地形や地層、岩石などの観察を通して、土地の成り立ちや広がり、構成物について理解していた。観察器具の操作、記録の仕方などの初めての作業であったが、意欲的に学習していた。 火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組成の違いを成因と関連付けて考えていた。とくに、真砂土が花崗岩の風化によってできることを知り、土砂災害の仕組みを理解していた。 				
	3.得られた成果 ・普段あまり意識せずに過ごしている自分の町であるが、フィールドワークを通して、災害に対する危険な箇所を認識し、生徒自らが課題意識をもって、意欲的に学習を進めることができた。 ・災害時のシュミレーションン（DIG）を通して、日頃からの情報共有やコミュニケーションが大切であり、実際に災害が起こった時には、その力が自分たちの命を守ることにつながることを認識した。 ・ポスター作製の際には、これまで学習してきたことを振り返りながら、調べて分かったことや生徒自身の環境に合わせてマイタイムラインを作成し、家族と話し合ったり、学級の生徒と話し合いながら、協力して学習に取り組むことができた。 ・理科で学習した地質や真砂土の知識が、総合的な学習の時間で学習した災害時における対応と結びつき、生徒は実感を伴って理解していた。						4.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果 ・大雨の際に溢れる側溝や砂防堰堤、西日本豪雨の際に被害のあったところなどを実際に目で見ることによって、普段あまり意識していなかったことを、意識してみることができ、新たな疑問が生まれ、学習の意欲につながることができた。 ・総合的な学習の時間や理科で学んだことをもとに、日常生活と結びつけたり、自分で課題を設定して学習を進めることができた。 ・水害や土砂災害についての理解が進み、自分たちが住んでいるところのリスクやどのように避難するのが安全かを考えることができた。								

河川教育 学習活動報告書【複数学年 2 年生】

1.助成事業名		ふるさと甲奴「河川・水」の取組～命を守る～				学校名		三次市立甲奴中学校			助成番号		2023-7213-010		
5.実際に行った単元構成 注)活動の様子を記述し、写真を添付してください。															
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
学 習 活 動 の 結 果	単元名：日本の地域的特色 日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取組などをもとに，日本の自然環境に関する特色を理解する。 関連教科：社会 14時間 石狩平野の土地改良の学習から，蛇行した川の河川改修について学び，三次の馬洗川の治水対策と関連付けて学ぶことができた。 中国，四国地方の地形や気候の特色，自然環境について学び，土砂災害に備えた防災について，広島県の状況や取組について学んだ。 				単元名：地球の大気と天気の変化 天気の変化や日本の天気の特徴が大気中の水の状態変化や大気の動き，海洋の影響と関連していることを捉え，気象とその変化について総合的に理解する。 関連教科：理科 15時間 気象要素と天気の変化との関係から，気象要素，気象観測，霧や雲のでき方の基本的な原理・法則を理解した。身のまわりの大気の状態を継続的に観測したり，災害時の気象データを読み解きながら考察していった。 霧や雲のでき方について，実験を通して実感し，水の状態変化や温度，飽和水蒸気量と関連付けて理解していた。また，地球上の水がさまざまな状態で存在し，霧，雲，雨や雪はその循環の一部であることを認識していた。 日本付近の高気圧や低気圧の移動と，それに伴う天気の変化を，地球規模の大気の動きの一部として捉えていた。気圧配置をみながら湿った空気の流れや線状降水帯について理解し，土砂災害や洪水が起こるメカニズムを学習した。 				単元名：流域の概念 社会や理科などの教科で学習した知識・技能をもとに，流域の概念を獲得するとともに，洪水や土砂災害について様々な要素を総合的に捉えて考える。 関連教科：総合的な学習の時間 4時間 三次河川国道事務所で，三次の洪水対策や治水について説明を受けたのち，警報発令時の中央指令所や流域治水の模型を見学した。中央指令所では，江の川水系の各箇所に設置されたモニターにくぎ付けになり，流域治水模型では対策がないと洪水が拡大するさまを目の当たりにし，流域全体での防災対策に興味関心を高めていた。 三次河川国道事務所に行った際に灰塚ダムが洪水調整の役割があることを知り，実際に行ってみた。灰塚ダムは，大雨が降った時に下流に流す量を調整して洪水にならないようにする役割や，農業用水・水道用水供給の役割もあり，生徒はダムの役割に感心していた。外からの見学に加え，ダム本体の中も見ることができ，ダムの電力を賄う水力発電機や放流用のゲートを見学し，灰塚ダムの役割を実感していた。 三次河川国道事務所や灰塚ダムで学んだことや発見したことをプレゼンテーションにまとめ，発表することができた。 						
	6.得られた成果														
	・社会科では，中国四国地方の地形や気候を学習する際に，広島県の土砂災害や水害の状況と関連付けながら，土地利用や治水，防災の視点で多面的に学習を進めることができた。 ・理科では，気象観測を通して気象データの読み解き方，実験を通して霧や雨のでき方，梅雨時期の気圧配置と大気の流れについて学習し，土砂災害や水害が起こるメカニズムを理科の視点から捉え，様々な要素を結びつけて考えることができた。 ・総合的な学習の時間では，三次河川国道事務所や灰塚ダムを実際に見学することで，三次市全体の治水や洪水時におけるダムの機能を時間を伴って理解することができた。また，社会や理科で学習したことがもととなり，難しい内容を説明されても理解することができていた。														
7.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果															
・ 1 学年での学習や教科（理科・社会）での学習を関連付けて，生徒自身の中で災害に対する様々な要素が結びつき，より深い理解につなげることができた。 ・ 土砂災害や水災害のメカニズムを， 1 つの系（システム）として捉えることができ，思考力を育成することができた。 ・ 自分たちの命は自分たちで守るという意識と治水や洪水調整などの社会全体で進めていく対策と，個と全体を結び付けて考えることができ，課題意識が生まれ，自ら探究していこうとする帯同が見られるようになった。															

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7213-010	ふるさと甲奴「河川・水」の取組～命を守る～	三次市立甲奴中学校



学習活動名：砂防ダム等のフィールドワーク

日 付：7月10日

見られた子どもの姿：

甲奴町内在住の防災士である西田井恭子さんに、甲奴町内の砂防ダムや堰堤、ハザードマップに載っていない危険箇所を案内していただいた。生徒たちは実際に現地を確認することで、災害の実際や防災対策について実感を持った理解をすることができた。



学習活動名：三次国道河川事務所

日 付：1月19日

見られた子どもの姿：

三次河川国道事務所で、三次の洪水対策や治水について説明を受けたのち、警報発令時の中央指令所や流域治水の模型を見学した。中央指令所では、江の川水系の各箇所に設置されたモニターにくぎ付けになり、流域治水模型では対策がないと洪水が拡大するさまを目の当たりにし、流域全体での防災対策に興味関心を高めていた。



学習活動名：灰塚ダム

日 付：2月5日

見られた子どもの姿：

三次河川国道事務所に行った際に灰塚ダムが洪水調整の役割があることを知り、実際に行ってみた。灰塚ダムは、大雨が降った時に下流に流す量を調整して洪水にならないようにする役割や、農業用水・水道用水供給の役割もあり、生徒はダムの役割に感心していた。外からの見学に加え、ダム本体の中も見ることができ、ダムの電力を賄う水力発電機や放流用のゲートを見学し、灰塚ダムの役割を実感していた。

令和 5 年 6 月 14 日

甲奴町防災学習フィールドワーク等実施要項

第 1 学年

1 目 的

○甲奴町内の危険箇所や避難場所を巡り，これから災害が起こったときにどのようにすれば自分や周りの人の命を守れるかについて考え，自ら判断し行動できることを目指す。

2 日程・場所（予定）

○令和 5 年 7 月 10 日（月）	8：40～14：20	
①甲奴中学校での学習	8：40～ 9：40	
出発準備	9：45～ 9：50	
②宇賀小周辺の被害場所	10：00～10：15	} バスにて移動
③ウイングドーム上の砂防ダム	10：30～10：45	
④カーター球場の法面	10：50～11：00	
⑤甲奴駅まで徒歩にて移動（ハザードマップ危険地域）	11：00～11：20	
⑥甲奴コミュニティーセンターで避難場所設置用の道具見学	11：25～12：10	
甲奴中学校着（徒歩）	12：20	
⑦振り返りとまとめ	13：30～14：20	

3 参加生徒の学年別，男女別数

1 学年生徒 男子 5 名，女子 5 名，合計 10 名

4 不参加生徒の数及びこれに対する措置

不参加生徒なし

5 引率者の職 氏名

教諭 藤川 哲平 教諭 櫻井 満也 教諭 加瀬部 留美

6 経費

バス料金（公費負担）

個人経費負担 なし

7 実施のための安全計画

バスでの移動における，安全およびマナーの指導
健康観察

8 その他必要事項

なし

令和 5 年 7 月 10 日

三次市役所 危機管理課長 様

三次市立甲奴中学校
校 長 佐伯 貴昭

甲奴中学校第 1 学年総合的な学習の時間の講師について（依頼）

平素より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本校第 1 学年では、今年度の総合的な学習の時間で「自分の命、周りの人の命を守る」をテーマに防災学習を進めています。

学習を進めるにあたり、これまでの地域で起こった災害について調べ、これから災害が起こったときにどのように行動するか、またはどのようにして被害を最小限に抑え命を守るかについて、生徒自身で課題を設定し、防災について探究することを目的としています。

つきましては、貴所属 係長 荒瀬 哲久 様の派遣についてご配慮いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 1 日 時 令和 5 年 7 月 1 8 日（火） 1 0 : 2 0 ~ 1 2 : 2 0
- 2 日 程 1 0 : 2 0 ~ 1 0 : 3 5 打ち合わせ
1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 2 0 授業への参加
- 3 場 所 三次市立甲奴中学校
三次市甲奴町梶田 3 8 番地
(Tel 0 8 4 7 - 6 7 - 2 2 0 0)
- 4 対象者 本校生徒（1 年生：1 0 名）・教職員（1 学年担当 計 3 名）
- 5 内容
 - ・三次市の防災の取組について
 - ・市内各地における防災の取組について
 - ・広島県における防災の取組について
 - ・生徒からの質問に答えてもらう等

令和 5 年 7 月 10 日

三次市役所 危機管理課
係長 荒瀬 哲久 様

三次市立甲奴中学校
校 長 佐伯 貴昭

甲奴中学校第 1 学年総合的な学習の時間の講師について（依頼）

平素より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本校第 1 学年では、今年度の総合的な学習の時間で「自分の命、周りの人の命を守る」をテーマに防災学習を進めています。

学習を進めるにあたり、これまでの地域で起こった災害について調べ、これから災害が起こったときにどのように行動するか、またはどのようにして被害を最小限に抑え命を守るかについて、生徒自身で課題を設定し、防災について探究することを目的としています。

つきましては、本校の総合的な学習の時間の講師をお願いいたします。

- 1 日 時 令和 5 年 7 月 1 8 日（火） 1 0 : 2 0 ~ 1 2 : 2 0
- 2 日 程 1 0 : 2 0 ~ 1 0 : 3 5 打ち合わせ
1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 2 0 授業への参加
- 3 場 所 三次市立甲奴中学校
三次市甲奴町梶田 3 8 番地
(Tel 0 8 4 7 - 6 7 - 2 2 0 0)
- 4 対象者 本校生徒（1 年生：1 0 名）・教職員（1 学年担当 計 3 名）
- 5 内容
 - ・三次市の防災の取組について
 - ・市内各地における防災の取組について
 - ・広島県における防災の取組について
 - ・生徒からの質問に答えてもらう等

目指せ防災マスター！避難準備シート(試案)

櫻井満也授業資料

	☒	【1】ビギナーレベル	☒	【2】アマチュアレベル	☒	【3】プロレベル
場所	☒	①地域の避難場所を知っている。	☒	①地域で避難する場所を複数決めている。	☒	①災害に応じて、より安全に避難できる場所を複数調べている。
	☒	②避難場所へ避難する経路を知っている。	☒	②避難場所へ避難する経路を複数決めている。	☒	②災害に応じて、より安全に避難できる経路を複数調べている。
	☒	③地域の危険個所の場所(ハザードマップ)を知っている。	☒	③地域で過去に起こった災害から、避難の仕方(経路や移動手段など)を決めている。	☒	③地域の危険個所を見て回り、どんな災害が起こる可能性があるか調べている。
物	☒	①避難時に持ち出す水や食料が、1日どのくらい必要か知っている。	☒	①非常持ち出し袋に入れておく中身を決めている。	☒	①災害や避難場所に応じた非常持ち出し袋を準備している。
	☒	②避難時に持ち出す物の場所を知っている。	☒	②非常持ち出し袋を置く(保管する)場所を決めている。	☒	②飲食物をローリングストックしたり、持ち出し物を定期的に見直したりしている。
タイミング	☒	①警戒レベルごとに、避難に関して「取るべき行動」を知っている。	☒	①どの警戒レベルで避難を行うか、決めている。	☒	①地域の自治体がどのように判断して警報を発令するか調べている。
	☒	②目視で避難を判断する情報(河川や道路の状況など)には何があるか知っている。	☒	②目視で避難を判断する情報を複数決めている。	☒	②目視で避難を判断する情報を、定期的に見直したりしている。
	☒	③ネットで避難を判断する情報(河川や気象の状況など)には何があるか知っている。	☒	③ネットで避難を判断する情報を複数決めている。	☒	③ネットで避難を判断する情報を定期的に見直したりしている。

【レベル1：ビギナー】知っている 【レベル2：アマチュア】決めている 【レベル3：プロ】行動(準備)している

令和 6 年 1 月 11 日
2学年会

2年生校外学習活動について

1 日 時 令和 6 年 1 月 19 日(金) 雨天決行

2 場 所 三次河川国道事務所 (広島県三次市十日市西六丁目2番1号)

3 目 的

- ① 河川国道事務所の仕事内容や役割を知ること、河川・洪水についての基礎知識を身に付ける。
- ② 流域について学習し、どのような場所や地形が災害のリスクが高いのか、どのようにして災害がおこるのかなど、そのメカニズムについて学習する。

4 交通手段 貸し切りバス(公費負担)

5 参加生徒の学年別, 男女別数

2学年 男子生徒6名 女子生徒1名 合計7名

引率者 校長 佐伯貴昭 教諭 藤原 典子 教諭 古森 ちえみ

6 日 程

13:20 甲奴中学校出発

14:00 三次河川国道事務所到着

14:10~15:20 講演・河川見学

15:30 三次河川国道事務所出発

16:10 甲奴中学校到着

7 経 費 個人経費負担 なし

8 服 装 甲奴中学校規定の制服(冬服)

9 持参物 バインダー 資料 筆記用具 水筒(お茶) 雨具

10 実施のための安全計画

バスでの移動における安全およびマナーの指導, 健康観察

令和 6 年 1 月 11 日
2 学年会

2 年生校外学習活動について

1 日 時 令和 6 年 2 月 5 日(月)

2 場 所 灰塚ダム管理支所(広島県三次市三良坂町仁賀1575)

3 目 的

- ① 日本のダムにはどのような種類や役割があるのか理解する。
- ② 灰塚ダムがどのように稼働し, 災害から地域を守るのかについて, その仕組みや果たす役割について学習する。

4 交通手段 貸し切りバス(公費負担)

5 参加生徒の学年別, 男女別数

2 学年 男子生徒6名 女子生徒1名 合計7名

引率者 校長 佐伯貴昭 教諭 藤原 典子 教諭 古森 ちえみ

6 日 程

13:20 甲奴中学校出発
13:50 灰塚ダム到着
14:00~15:10 講演・ダム見学
15:20 灰塚ダム出発
15:50 甲奴中学校到着

7 経 費 個人経費負担 なし

8 服 装 甲奴中学校規定の制服(冬服)

9 持参物 バインダー 資料 筆記用具 水筒(お茶) 雨具

10 実施のための安全計画

バスでの移動における安全およびマナーの指導, 健康観察

2 年 防災学習

1年生では、

どんなことを学習したかな？

過去の災害について

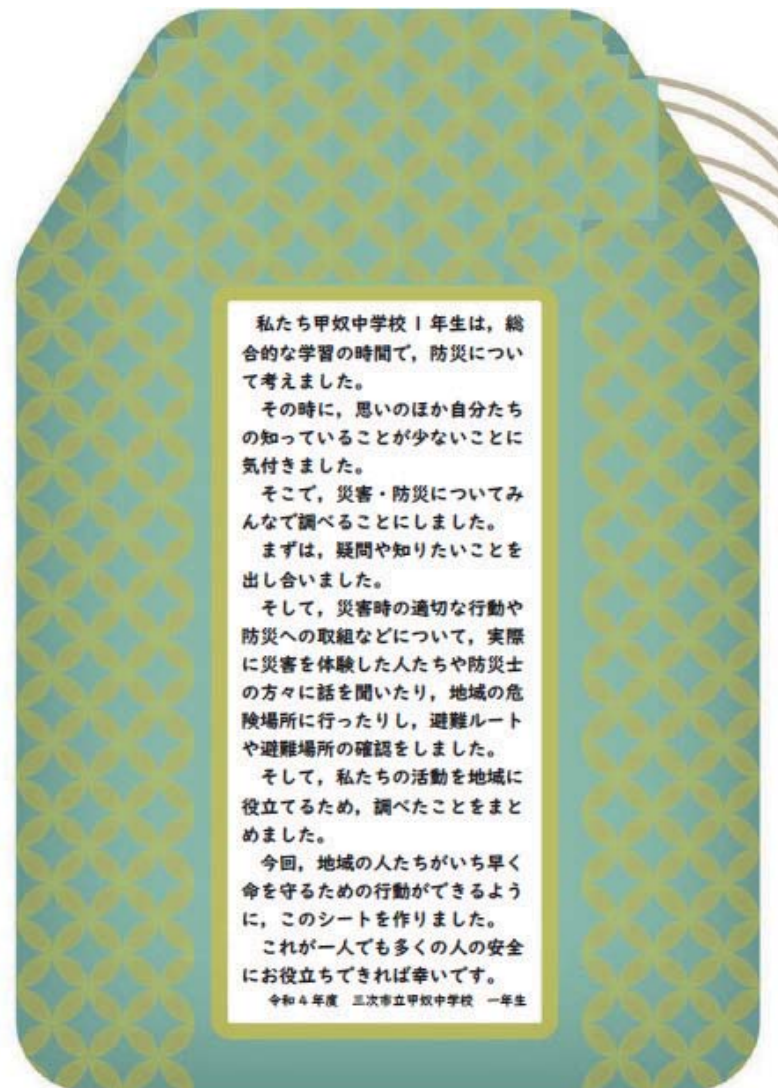


フィールドワーク



危機管理課





5 準備物

(例) ・水 ・食料 ・着替えなど…



6 係決め

(例) ・食料運び係 ・水運び係など…



7 その他（避難し損ねた場合など…）



1 我が家の避難場所



2 家族の連絡方法



3 避難ルート・危険な場所



4 避難のタイミング

避難情報等 (確認レベル)			
情報 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難準備等
5	災害発生 又は伝達	急な危険 感に安全確保！	緊急安全確保
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害の おそれ高う	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	災害発生確実	自主避難開始を促す	高齢・障害等避難
1	中程度以上の被害 が予測	避難への準備を促す	早期避難準備

テーマ

私たちや周りの人たちの命を
守るためにできることは何か

2年生では・・・

もう少し災害を科学的に見ていこう

(例) 災害の起こり方

(例) 災害を防ぐための対策

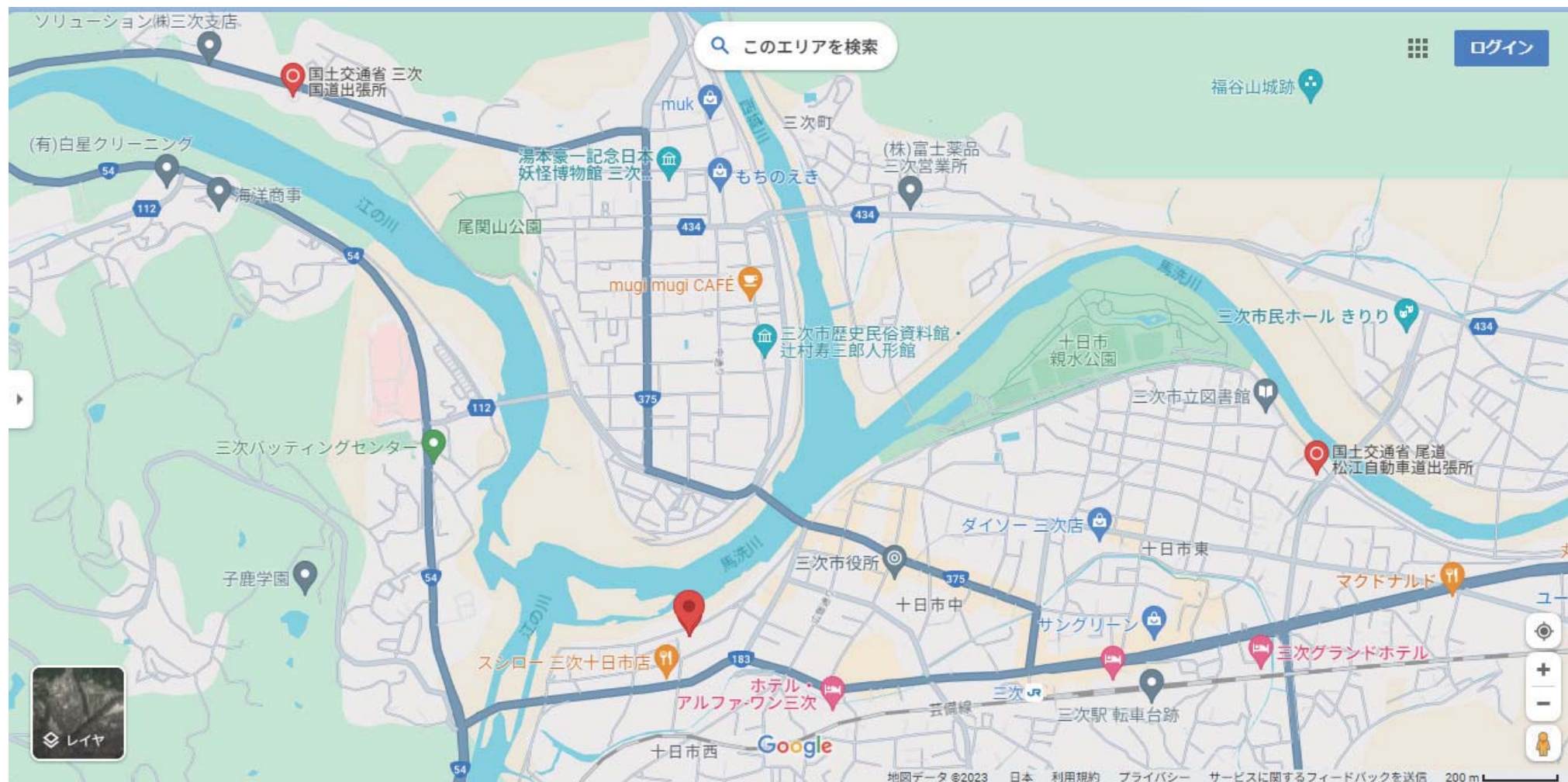
このあたりの川といえは・・・

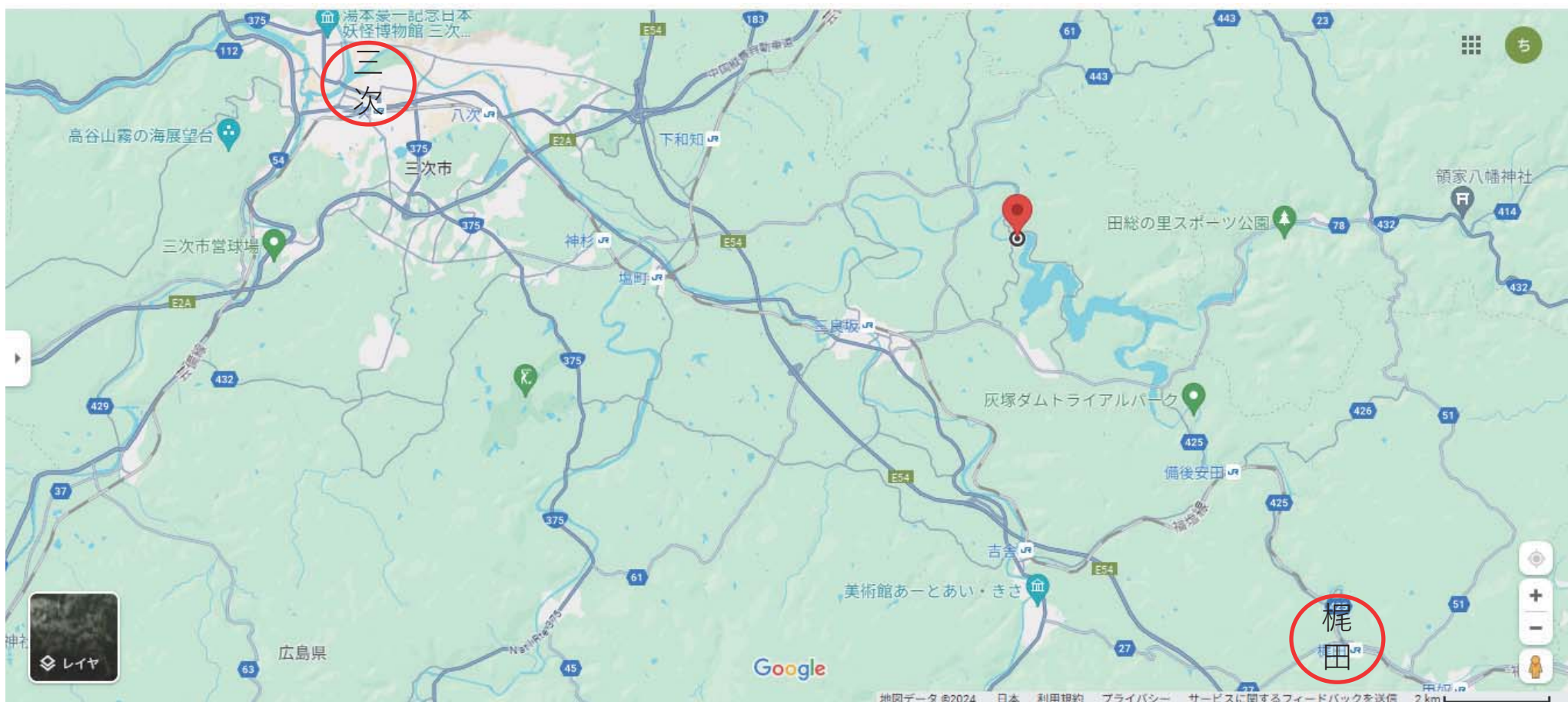
河川はどこが管理しているのだらう？

中国 地方 整備 局	斐伊川	剣先川	http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/jimusho/gaiyo/index.html	山雲河川事務所 占用調整課	0853-21-185
		八間川			
		尾原ダム（斐伊川、槻ノ屋川、下布施川、 八代川、三沢川、奥下布施川）			
		志津見ダム（神戸川、角井川）			
	江の川	江の川	http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/kasen/PDF/kawawomamorutorikum-i-3.pdf	浜田河川国道事務所 占用調整課	0855-22-248
		神野瀬川			
		馬洗川			
		西城川	https://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/panfu/jigyougaiyo/17.pdf	三次河川国道事務所 占用調整課	0824-63-412
		灰塚ダム（上下川、杉谷川、大谷川、 田総川、木屋川）			
		土師ダム（江の川）	https://www.cgr.mlit.go.jp/haji/kanri/index.htm	土師ダム管理所	0826-52-245
	高津川	高津川			
		高津川派川	http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/kasen/PDF/kawawomamorutorikum-i-3.pdf	浜田河川国道事務所 占用調整課	0855-22-248
		白上川			
		匹見川			
	吉井川	吉井川	https://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/jimusho/kanshokukai/ki_kai.htm	岡山河川事務所 上田河川事務所	086-223-510
		全川			

三次河川国道事務所











＜国土交通省の担当分野＞

○住宅、ビル、まちづくりなど、生活空間を支えるもの

○鉄道、バス、飛行機、船、道路、港など、移動を支えるもの

○物流、景観、観光など、社会の豊かさを支えるもの

○防災・減災など、人々の安全・安心を支えるもの などなど

→私たちの“暮らしに欠かせないもの”を、“より良く”していく仕事



テーマ

三次河川国道事務所や灰塚ダム
の役割や必要性を知り，防災，
減災につなげる。

具体的には

1. 三次河川国道事務所についてどんなところか、
どんなことをしているところか下調べをしよう。
2. 三次河川国道事務所，灰塚ダムへのフィールドワーク
3. 学習のまとめ

- [三次河川国道事務所 \(mlit.go.jp\)](http://mlit.go.jp)

- [国土交通省のお仕事 - 国土交通省 \(mlit.go.jp\)](http://mlit.go.jp)

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7213-010	ふるさと甲奴「河川・水」の取組～命を守る～	三次市立甲奴中学校
主な実施箇所 広島県三次市甲奴町本郷 学習活動名：堰堤のフィールドワーク 日 付 ：7月10日		

[学校部門]		[実施箇所位置図]
助成番号	助成事業名	学校名
2023-7213-010	ふるさと甲奴「河川・水」の取組～命を守る～	三次市立甲奴中学校
助成事業の主な実施箇所	主な実施箇所	広島県三次市十日市西六丁目2番1号
	学習活動名：国土交通省三次河川国道事務所見学 日 付：1月31日	
		

[学校部門]		[実施箇所位置図]
助成番号	助成事業名	学校名
2023-7213-010	ふるさと甲奴「河川・水」の取組～命を守る～	三次市立甲奴中学校
助成事業の主な実施箇所	主な実施箇所 広島県三次市甲奴町本郷	
	学習活動名：防災学習フィールドワーク 日 付 ：2月5日	
		